

小都市情報リテラシー及び情報モラル系統表

		低学年（1・2年）	中学年（3・4年）	高学年（5・6年）	中学生
情報リテラシー	文字入力	○簡単な言葉を入力できる	○ローマ字変換で簡単な言葉や文を入力することができる。（目安：1分間に30字）	○はやく正確にローマ字入力を行うことができる。（目安：1分間40字）	○ブラインドタッチで、早く正確にローマ字入力ができる。（目安：1分間に50文字）
	基本操作	○起動と終了ができる。 ○パスワードを入力してログインできる。 ○マウス・タッチペンを使うことができる。 ○スワイプ・タップ操作など簡単なキーボード・画面操作ができる。 ○ファイルの呼び出し・保存ができる。	○インターネットを使って、目的に合った検索ができる。 ○画像や作成物、検索した情報等を印刷することができる。 ○画面上の情報を編集することができる。（コピー＆ペースト、装飾、拡大・縮小等） ○タスクバーの使い方を知る。	○簡単なグラフを作成したり、図や写真・グラフを挿入できる。 ○フォルダやファイルの名前の変更・整理・削除ができる。	○フォルダやファイルの作成・管理ができる。 ○複数のアプリやソフトウェアを同時に利用することができる。
	アプリ等の活用	○お絵かきソフトやタッチペン等を使って、お絵かきができる。 ○ドリルアプリを開いて、自分でドリルを進めることができる。 ○カメラ機能を使って、写真・動画を撮ったり、QRコードを読み取ったりできる。 ○プログラミングソフトを使って、簡単なプログラミングができる。	○ドリルアプリを開いて、自分の課題に応じたドリルを選択し、進めることができる。 ○チャットやteams、ロイロノート機能を使って、簡単な交流ができる。（共有・協働学習を含む） ○プログラミングソフトを使って、簡単なプログラミングができる。 ○簡単な文章を作成できる。（PowerPoint、word）	○表計算ソフトを用いて、データを入力し、グラフを作成することができる。 ○簡単なプレゼンテーションを作成できる。（PowerPoint、Word） ○チャットやteams、forms、ロイロノートを自分の目的に応じて、効果的に活用することができる。（アンケート作成等含む） ○論理的思考を働かせながら、プログラミングを作成したり、修正したりできる。	○表計算ソフトを用いて、目的に応じて、データを入力し、グラフを作成することができる。 ○画像やグラフなどを取り入れた分かりやすいレポートやパンフレット作成及びプレゼンテーションを行うことができる。 ○目的に応じたソフトウェアやアプリを利用することができる。 ○チャットやteams、forms、ロイロノートを自治的活動に活用することができる。
情報モラル	情報社会の倫理	○約束やきまりを守る。 ○人の作ったものを大切にする。	○相手への影響を考えて行動する。 ○自分や他人の情報を大切にする。 ○情報にも自他の権利（著作権・肖像権等）があることを知る。	○他人や社会への影響を考えて行動する。 ○情報にも自他の権利（著作権・肖像権等）があることを知り、尊重する。	○情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する。 ○個人の権利（人格権、肖像権等）を尊重する。
	法の理解と遵守		○情報の発信や情報のやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る。	○ルールやマナーに反する行為を知り、「ルールやきまりを守る」ことの社会的意味を理解し尊重する。	○違法な行為について知り、違法だと分かった行動は絶対に行わない。 ○情報の保護や取扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。 ○契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。
	安全への知恵	○大人の人と一緒に使い、危険に近づかない。 ○知らない人に連絡先を教えない。 ○決められた利用の時間や約束を守る。 ○タブレット端末等に目を近づけすぎないよう、正しい姿勢で学習する。	○危険・不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。 ○健康のために利用時間を決め守る。 ○情報には誤ったものがあることに気づく。 ○個人の情報は、他人にもらさない。	○不適切な情報であるものを認識し、不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、対応できる。 ○情報の正確さを判断する方法を知り、個人情報や第3者にもらさない。 ○健康を害するような行動を自制する。 ○人の安全を脅かす行為を行わない。	○安全性の面から、情報社会の特性を理解する。 ○トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る。 ○情報の信頼を吟味し、自他の情報の安全な取扱いに関して、正しく行動できる。 ○健康・安全面に配慮した情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる。
	情報セキュリティ		○認証の重要性を理解し、正しく利用できる。	○不正使用や不正アクセスされないように利用できる。 ○情報の破棄や流出を守る方法を知る。	○情報セキュリティの基礎的な知識を身につけ、基礎的なセキュリティ対策が立てられる。
	公共的なネットワーク社会の構築		○協力し合ってネットワークを使う。	○ネットワークは共用のものであるという意識をもって使う。	○ネットワークの公共性を意識して行動できる。